

8

川に学ぼう

～ちいき・かんきょう・くらし～

主催団体	カワラバン 担当者：代表 菅原 正徳 ☎ : 090-9745-3571 e-mail : contact@kawara-ban.org URL : https://www.kawara-ban.org/		
体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀などをつかって身のまわりの水を確認する。 ・身近な水辺に暮らす生きものの観察(事前に採取して持参)を行うことで地域の水環境を考える。 		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの水を考えることから、大地の血管としての川の役割を学ぶ。 ・川の水がくらしに役立っていることを学ぶ。 ・川的环境は場所によって異なり、その場所に適した生き物が川にくらしていることを学ぶ。 		
時間	90分 (45分×2)		
対象学年	小学1年生～6年生		
関連教科等	1年生 生活：いきものなかよし 2年生 生活：生きものなかよし 大作せん 4年生 社会：県の広がり、水はどこから 4年生 理科：自然のなかの水のすがた	5年生 社会：低い土地のくらし、米づくりのさかんな地域 5年生 理科：流れる水のはたらき	
対象人数	4クラス(120人まで)、授業を補助する教師が最低1人必要		
授業形態	学校での持ち込み授業		
場所	教室、会議室等		
時期	4月～3月		
準備物	児童：筆記用具、ノート等	教師：プロジェクター、スクリーン、黒板またはホワイトボード、くみ置きの水	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・川で遊ぼうと合わせての実施が効果的です。 ・合わせて実施する場合は、最初に川で遊ぼうを取り入れ、雨天等で実施出来ない場合は川に学ぼうを行うと、日程を組むのが楽になります。 		
備考	このプログラムは杜の都の市民環境教育・学習推進会議の「杜々かんきょうレスキュー隊事業」により平成19年に作成したものです。		

【活動の様子】



プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	主催団体及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割（最低1人）
1 導入	5	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 授業の流れを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の学習計画のうち、今回の学習がどこに位置付けられているのか説明する。
2 水の循環 ・身のまわりで水があるところを考える。 ・水の循環を確認する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ビーチボールの地球儀を投げ、キャッチした児童に水のある場所を挙げてもらう。 ・回答を板書して身のまわりの至る所に水があることと循環していることを見える化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀を使うのは最初の数回なので、それ以後は手を挙げている児童を指名する。
3 くらしと水のかかわり ・川の水が日常生活に使われていることを考える。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なヒントを与えながら意見が出るようにする。 	
4 流れのようす ・上～中～下流それぞれの写真を比較する。	25	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる地点で撮影した川の写真を提示し、上流から並び替えをしてもらう。 ・写真を比較し、異なる点を挙げてもらう。 ・対象に応じて、異なる点の理由も考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になると挙手が減るので、わかっている様子の児童がいる場合は指名する。
5 休憩		○「観察用生き物」の準備	
6 特徴をとらえる。 ・生き物の特徴を見つけ出す。 ・特徴には理由がある事を確認する。	15	<ul style="list-style-type: none"> ○主催団体が準備した「観察用生き物」の観察 ・(3年生以下)動物などの特徴を紹介し、どのようにしてそのような形になったかを考える。 ○アクティビティの実施 ・(4年生以上)指導者と担任で川にいる生き物1種類の名前を紙に書き、互いの背中に見えないように張る。 ・色や形、生息地などの質問を児童にしてその回答から背中の生き物を推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象が4年生以上の場合、指導者と一緒に生き物を推測するアクティビティを行う。
7 生き物観察	25	<ul style="list-style-type: none"> ○「事前に採取してきた生き物」を水槽に入れて観察してもらう。 ・どのような特徴がある生き物がいたかを記録させ、観察後発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名前は教えない。 ・特徴をとらえるアドバイスをする。
8 まとめ、振り返り	5	<ul style="list-style-type: none"> ・感想発表、質問等 	